学習院大学新聞

発行所
学習院大学新聞社
東京都豊島区目白1丁目5番1号
電話(986)0221内線607
発行・編集責任者
前田　淳成
年間200円

何がアブナイ国家秘密法

学習院版

理学部　IC・半導体の研究　××
政治学　軍事問題のデータ　××
経済学　防衛予算のディテール　××

今、米軍横田基地を舞台にしたスパイ事件なをきっかけにスパイ防止法の制定を求める動きがあるため、様々な市民レベルの反対運動が起こっている。おじさん、おばさんからの市民ネットワークからマスコミ入学生、パンクスまで、みんななれぞれ考えたかは違っていてもスパイ防止法には「国家秘密法」という名称を付ける。いわれはよの「国家秘密法」という法案が導入されれば、我々は既大な密度に囲まれて生活することになる。すると我々のなにけない言動が国家秘密法に抵触することもあります。その意味で、「国家秘密法案」問題は、日本国民全にかかわりのある国の根本的な問題なのではないだろうか。そしてこのことは、もちろん我々学生にについても外ではありえない。

現在学習院大学では、理学部ICやトランジスタ、半導体などの基礎研究が行われている。これらはどれも最先端技術であり、研究内容が国家秘密とされる可能性は大きい。そしても国家秘密とされた場合、基礎研究に従事している学生は意図に注意するその学士が、扱っている研究内容をつかり友人に話すと法案第九条（業務により知得し又は猶有した防衛機密を過失により他人に漏らした）として、二年以下の禁固又は二百万円以下の罰金に処せられるからである。

文系学部の学生も他人事ではすまされない。例えば法学コミ（ばばし軍事問題研究会）は、「国家秘密法」を賛成に断ぜしたわけ一一九五五年十二月政府提出各界連一一一

創作「敗北」

三宮損徳作

【プロローグ】

みんな生きている。喜んだり怒を流したりして、みんな生きている。

他人を足にし、自分に健をつき、大声で喚き、小声でさやきながら、彼も生きている。僕も生きている。

毎日が死への歩みである事を知りながら、そして死処算を布けりながら、みんなさきゆく。

自分が何者であり、どこから来てどこへ行くのかも残りを知ってしまった今の僕は、ただ、ただ、ただ